

# 「食の拠点」とかち強化プロジェクト

## 十勝連携地域

### 【概要・目的】

生産基盤の強化による食料生産・供給拠点の形成や担い手の育成・確保などを図り、我が国における食料供給地域としての地位をさらに揺るぎないものにするとともに、こうした十勝の優位性を活かし、農商工連携等による十勝産食材の付加価値向上や海外輸出も含めた販路の拡大を進め、強いブランド力をもった食産業を構築していきます。

### 【施策展開】

#### これまでの主な取組実績

- **安定的な食料の生産・供給拠点の形成**
  - 農業の担い手の経営体質強化のため、研修会の開催など地域農業と民間企業との連携、専門家派遣等による人材育成
  - 農業高校と連携した農業高校生の就農促進など
- **豊富な農水産物等を活かしたブランド力のある商品の開発や海外を視野に入れた販路拡大**
  - 十勝産品のブランド化に必要な商品デザインを磨き上げるためのセミナーや相談会を開催
  - 道内外の飲食店やホテル等における十勝産品のブランディングやマーケティング調査実施
  - 十勝産原材料を活用した食品である十勝ブランド認証品の適正・公平性の確保を推進
  - 「6次産業化」や「海外販路拡大」をテーマとした検討会議の開催
  - 管内の関係機関が相互に連携した「とかち6次産業化検討部会」等による取組の展開

#### 今年度の主な取組（平成29年度）

- **安定的な食料の生産・供給拠点の形成**
  - 【経営体質強化】:①高品質・高付加価値・低コスト化のための施設整備、②国際競争力強化のための高収益化取組の総合的支援、③クリーン農業の普及と取組促進など
  - 【人材育成】:①農業高校の就農促進のためのPR、②農業研修生受け入れや情報交流会、新規就農者対象ゼミナールなどの各種イベントの開催など
- **豊富な農水産物等を活かしたブランド力のある商品の開発や海外を視野に入れた販路拡大**
  - 【十勝ブランド化】:①業界団体・海外ニーズに対するの調査・フェア・報告会の開催、②十勝ブランド事業支援委員会へのオブザーバ参加など
  - 【大都市圏消費拡大】:①「十勝イタリアーノマンジァーレ」首都圏開催に向けたサポート、②包括連携協定締結企業との連携及びPR、③専門学校への食に関する研修旅行誘致など
  - 【ネットワーク構築】:①6次産業化サポートセンターとの連携、②「とかち6次産業化検討部会」、「とかち海外展開支援ネットワーク」の設置による情報共有及び共通課題の解決、③「食と農の景勝地」十勝協議会と連携したインバウンド受け入れ対応など

#### 今後の取組を進める上での主な課題

- **安定的な食料の生産・供給拠点の形成**
  - 地域の営農戦略に基づく施設、機械の整備を図っていく上で、要望に応じた国費予算の確保が必要
  - 産地の高収益化に向けた地域の取組の支援が必要
  - 農業者の取組の定着、拡大、消費者の認知度向上、理解の促進に向け、継続した取組が必要※
  - バイオガスの適切な運営方法やプラントから生産される消化液の畑作利用を含めた活用方法の確立
  - 一次産業に対する理解促進など若者が職業として1次産業を選択できる環境づくりが必要
  - 指導農業士・農業士の活躍・活動の場の確保が必要
  - 管内青年農業者の活動の活性化や相互の技術研鑽を図るなどの情報交流機会の充実が必要
- **豊富な農水産物等を活かしたブランド力のある商品の開発や海外を視野に入れた販路拡大**
  - 十勝の生産者、民間企業、関係団体等が一体となれるような十勝ブランドの確立に継続した取組が必要
  - 外国人ニーズを的確に把握出来ていないため、外国人に好まれる味・デザインの商品開発・改良が必要
  - 十勝産品に対する認知度が低いことが課題であることから、十勝産品や十勝ブランドの更なるPRが必要
  - 国際水準GAPの実施、第三者認証取得の推進

※YES!Clean登録:現状395集団 ⇒ 目標H31年度 480集団  
YES!Clean認知度:13%(平成24年度環境調和型「農産物可能性調査」)

### 【KPIの状況】

	H26(基準)	H27	H28	H29	H30	H31(目標)
地域の認証・登録制度の認証・登録品目数	179品目 (H27)	179品目 <進捗率> 90%	174品目 <進捗率> 87%			200品目 (H32)
食品工業の付加価値額	876億円 (H26)	1,042億円 <進捗率> 110%				944億円 (H32)

## 「食の拠点」とかち強化プロジェクト

## 十勝連携地域

## 【施策展開】

次年度の取組(平成30年度)

## ■ 安定的な食料の生産・供給拠点の形成

## ○ 安定的な生産・貯蔵・供給体制の強化

- ・農業生産の高品質・高付加価値化や低コスト化の推進及び自給飼料生産拡大、循環型社会の構築のために必要な施設整備等を支援(強い農業づくり交付金、産地パワーアップ事業:国費)
- ・国際競争力の強化を図るため、地域の営農戦略に基づく産地の高収益化に向けた取組を総合的に支援(産地パワーアップ事業:国費)
- ・畜産経営の収益力の向上や飼料生産組織の経営高度化、畜産環境問題への対応など、畜産クラスター計画に基づく地域の中心的な経営体等が行う施設の整備等を支援(畜産クラスター事業:国費)
- ・消化液の畑作利用について、実証ほ場等による散布実証を実施。バイオガスプラント設置事業者等との情報交換の場を設け、課題の把握等を行うとともに、設置事業者の運営内容を把握し、適切な運営方法を検討(道(振興局))

## ○ 安全・安心な食の提供に向けた取組の促進

- ・クリーン農業の一層の普及拡大に向けた「選ばれるクリーン農産物ブランディング事業」(事業主体:道、道クリーン農業推進協議会)と連携した、消費者理解の促進(イベント時における行政PRコーナーの設置)(道(振興局))

- ・「北海道有機農業推進計画(第3期)」(H29～)を踏まえた取組推進、イベント時における行政PRコーナーの設置(道(振興局))
- ・環境保全型農業の取組を実践する農業者が組織する団体等に対する支援(環境保全型農業直接支援対策事業)(国、道(振興局)、市町村)

## ○ 1次産業における担い手の育成・確保・定着

- ・農業高校と連携した出前授業や農大との連携事業による農業高校生の就農促進(道(振興局))
- ・農業研修生受入や指導に係る各種研修会等の開催による指導農業者・農業者の資質の向上と活動の活性化(道(振興局))
- ・農業青年の情報交流会(青年アグリフォーラム in 十勝)の開催(道(振興局))
- ・新規就農者を対象に農業技術を学ぶ農村ゼミナール等の開催(道(振興局))

## ○ 地域営農支援システムの構築など産地の収益性向上に向けた取組の促進

- ・畜産クラスター事業の効果的な計画の実施に係る助言・指導及び実施地区に対する指導(道(振興局))

## ■ 豊富な農水産物等を活かしたブランド力のある商品の開発や海外を視野に入れた販路拡大

## ○ 十勝産農水産物の付加価値向上やブランド化に向けた取組の促進

- ・十勝ブランド認証機構による十勝産原材料を活用した食品である十勝ブランド認証品の適正の確保、公平性を保つため「十勝ブランド事業支援委員会」へオブザーバー参加(道(振興局))
- ・十勝産品の知名度向上やブランド化の推進を目的に業界団体等と連携してフェア等を開催(道(振興局)、水産関係団体等)
- ・首都圏の包括連携企業等の社員食堂を活用した十勝産品及び十勝ブランドのPR(道(振興局))
- ・首都圏及び中京圏の調理師専門学校と連携した十勝産品及び十勝ブランドのPR(道(振興局))
- ・H29のテスト販売結果等を踏まえ、外国人向け商品の開発・改良等の取組を支援するためのセミナーを開催するとともに、さらなる商品の改良やニーズの把握に向け、引き続き海外市場でのテスト販売を実施(道(振興局))

## ○ 大都市圏における十勝産食材のPRや消費拡大に向けた取組の推進

- ・関係部署と連携をしたPRの実施(道(振興局))
- ・「十勝イタリアノマンジャール」の企画・運営のサポートを行う(実行委員会形式)
- ・首都圏において包括連携協定締結企業と連携し、イベント等への出展を通して十勝の食や観光を広くPR(道(振興局)、水産関係団体等)
- ・首都圏や中京圏等の「食」に関わる教育機関(調理師専門学校、大学等)を対象とした、「食」に関する研修旅行の誘致に向けたモニターツアーの実施(道(振興局))

## ○ 6次産業化や農商工連携、輸出拡大に向けた関係者のネットワークの構築

- ・農業者等からの相談に対し、道が委託をしている6次産業化サポートセンターと連携した対応(国費:食料産業・6次産業化交付金の活用を含めた相談対応)(道(振興局))
- ・とかち海外展開支援ネットワークに参画。各支援機関と海外展開施策の情報共有(市、民間、道(振興局))
- ・国際水準GAPの実施、第三者認証取得の推進(道(振興局))

# 「ひがし北海道」広域観光プロジェクト

十勝・オホーツク・  
釧路・根室連携地域

## 【概要・目的】

北海道新幹線の開業や北海道横断自動車道(道東道)の更なる延伸、外国人観光客の増加や旅行形態の多様化といった様々な時代の流れを的確に捉え、道東の優れた自然環境をはじめとする多彩な観光資源、広大な畑作酪農地帯や豊富な漁業資源など各地域個々の魅力を一層向上させるとともに、道東4地域間連携による相乗効果を高め、道東地域全体への誘客促進を図っていきます。

## 【施策展開】

### これまでの主な取組実績

#### ■「ひがし北海道」の一体的な観光ブランドづくりによる誘客促進

- 道外観光客誘客を目的とした首都圏他大都市圏での食観光プロモーションの実施
- ひがし北海道の魅力ある周遊ルートの検討
- 道東自動車道サービスエリアにおいて、道央圏等からひがし北海道への誘客促進プロモーションの実施
- 新幹線開業後の函館市内において、観光客や住民に向けた誘客促進プロモーションの実施

#### ■交通ネットワークを利用した地域間連携の強化

- 観光部門と連携した道東自動車道の利用促進プロモーションの実施
- 観光列車運行可能性調査の実施
- ひがし北海道5空港(帯広・釧路・中標津・女満別・紋別)連携による国及び航空会社に対する要望活動の実施

### 今年度の主な取組(平成29年度)

#### ■「ひがし北海道」の一体的な観光ブランドづくりによる誘客促進

- 【道東関係者ネットワーク構築】:①道東4振興局連携推進検討会の開催など
- 【ひがし北海道ブランド発信】:①道央圏、道外及び海外への観光プロモーションの実施、②国内富裕層向けの長期ツアー実施や滞在型観光モデル構築など
- 【観光客誘致のための地域連携】:①広域周遊ルート形成促進事業事務局の連携調整など

#### ■交通ネットワークを利用した地域間連携の強化

- 【道東交通モード間・事業者間連携促進】:①JR路線バスの円滑利用促進など
- 【5空港連携強化】:①路線維持プロモーション、②航空会社、国交省への要請など
- 【高規格道路利用促進】:①期成会の重点要望事項として全線早期完成を要請
- 【新幹線効果波及推進】:①北海道新幹線Instagramフォトコンテストの開催

### 今後の取組を進める上での主な課題

#### ■「ひがし北海道」の一体的な観光ブランドづくりによる誘客促進

- 道内の観光入込客数が道央圏に集中していることから※1、誘客の更なる促進に向けた4地域一体となった取組や更なる効果を求めて、プロモーションの手法等の検討・再構築が必要
- 十勝の観光入込客数の宿泊客や道外客の割合は、道内他地域と比較すると、低い傾向にあることが課題となっているため※2、十勝の潜在的な観光の魅力を顕在化させ、十勝の知名度アップをはじめ、誘客や長期滞在等の促進に向け、地域一体となった取組が必要

#### ■交通ネットワークを利用した地域間連携の強化

- 外国人観光客に向けた鉄道からバス・タクシー等への乗継案内等がないため、案内表示等の基盤整備や多言語化が必要
- 道内空港の一括民間委託に係る動向との調整が必要
- 道東道の早期全線開通へ向けた地域全体での連携が必要
- 道南から道東への移動には長時間・長距離の移動を要するために道南から道東への二次交通の検討が必要

## 【KPIの状況】

※1道央53.4% 道東4振興局19.8% H28上半期道調べ  
※2宿泊客:道南28.3% 十勝15.1%、道外客:道南45.6% 十勝22.0% H28上半期道調べ

	H26(基準)	H27	H28	H29	H30	H31(目標)
道東地域への観光入込客数	2,620万人(H25)	2,826万人	2,704万人			2,987万人(H32)
		<進捗率>95%	<進捗率>91%			
		693万人	631万人(前年比91%)	716万人(前年比113%)		上期実数(十勝地域)

# 「ひがし北海道」広域観光プロジェクト

十勝・オホーツク・  
釧路・根室連携地域

## 【施策展開】

次年度の取組(平成30年度)

### ■ 「ひがし北海道」の一体的な観光ブランドづくりによる誘客促進

○道東地域における広域観光の推進に向けた関係者ネットワークの構築

- ・道東4振興局連携推進検討会の開催(道(道東4振興局))
- ・空路を活用した道東へのさらなる誘客促進に向け、道東の各空港と連携し、情報収集や取組の検討を実施(道(道東4振興局))

○地域資源を活用した周遊ルート開発、合同プロモーション等による一体的な情報発信

- ・道央自動車道サービスエリア等において、道央圏からひがし北海道への誘客促進のためのプロモーションの実施(道(道東4振興局))
- ・道東地域への誘客促進のため、道東4振興局が連携し、道外において合同観光プロモーションの実施(道(道東4振興局))

- ・国内の富裕層に向けた長期体験旅行ツアーを実施し、十勝の新しい滞在型観光のモデルを構築するとともに、SNS等による情報発信の取組を強化(道(十勝総合振興局))
- ・各地域の個性(地域資源)を活かした観光を支援するため、管内のDMO候補法人や関係団体などが情報交換や連携を図る会議を開催(道(十勝総合振興局))
- ・地域の関係団体・機関と連携し、道外・海外において誘客促進の食観光プロモーションの実施(北海道観光振興機構・十勝観光連盟、道(十勝総合振興局)、等)

○「アジアの宝 悠久の自然美への道 ひがし北・海・道」など観光客誘致に向けた地域の取組との連携推進

- ・広域周遊ルート形成促進事業における地域事務局として連携調整の実施(プライムルートひがし北・海・道推進協議会)

### ■ 交通ネットワークを利用した地域間連携の強化

○道東地域における交通モード間・事業者間の連携促進

- ・JRから路線バスへの円滑な利用促進へ向けた取組(情報提供・案内方法の検討)の実施(道(道東4振興局))
- ・道のバス事業活性化モデル事業の一環として、外国人観光客を対象に十勝管内のバスが乗り放題になるチケット「VISIT TOKACHI PASS」を発売(道(十勝総合振興局)、民間)
- ・「あばしりフリーパス」の販売を継続するとともに、対象路線及びクーポン対象施設の拡大を推進(道(オホーツク総合振興局)、民間)

○ひがし北海道5空港(帯広・釧路・中標津・女満別・紋別)連携による取組の強化

- ・地方空港路線維持確保プロモーション、各航空会社に対する要請活動、国(国土交通省)への要請(道(本庁)、市町村、民間)

○北海道横断自動車道(道東道)、帯広・広尾自動車道の利用促進に向けた取組の推進

- ・期成会の重点要望事項として北海道横断自動車道(道東道)、帯広・広尾自動車道の早期完成を要請(道(十勝総合振興局))

○北海道新幹線の開業効果を道東地域に波及させるための取組の推進

- ・東北との連携推進及び道民利用促進の気運醸成を図る事業の実施(道(本庁))

# 「次世代先進産業」とかちチャレンジプロジェクト

## 十勝連携地域

### 【概要・目的】

道内有数の賦存量を誇るバイオマス資源を活かした再生可能エネルギー等の利活用による新たな産業の創出や農業・農村の活性化、今後成長が期待される航空宇宙関連分野や大規模経営が展開されている十勝の農業におけるICT化の取組など、こうした十勝の優位性を活かした先進的な取組を一層促進することにより次世代に向けて先駆的で魅力ある地域づくりを進めます。

### 【施策展開】

#### これまでの主な取組実績

##### ■豊富な地域資源を活かした再生可能エネルギー等の導入促進

- 再生可能エネルギーの利活用促進に向けた普及啓発事業の実施や先進的な施設等の視察
- 水素の利活用促進に向けたパネル展示やホームページ等を活用した普及啓発の実施

##### ■新たな価値を生み出す科学技術などの活用

- 十勝地域で研究機関・企業・経済団体等を対象とした航空宇宙に関するセミナーを開催
- 管内理系高校生を対象に、産業展示会、企業・研究施設の体験ツアーを開催
- トラクタ自動操舵システムや可変施肥システムなどの導入推進に向けた検討
- SGEC認証制度※、地域材利用拡大に向けた説明会や一般向けセミナーの開催

#### 今年度の主な取組（平成29年度）

##### ■豊富な地域資源を活かした再生可能エネルギー等の導入促進

- 【再生可能エネルギー情報発信】：①環境学習体験会実施、②先進的施設視察・発信、③市町村へのバイオマスアドバイザー派遣など
- 【新エネルギーを担う人材、事業育成】：①帯広技術専門学校(太陽光発電協会認定研修期間として道内初登録)のPRなど
- 【水素エネルギーの利活用促進】：①環境イベントへの出展(水素自動車の展示、パネル提示等)、②鹿追町水素エネルギー研究会に参加など

##### ■新たな価値を生み出す科学技術などの活用

- 【大樹町多目的公園効果的活用】：①理系高校生向け及び関連産業立地促進セミナーの実施、②航空宇宙相談支援など
- 【農業ICT化取組】：①トラクタの自動操舵・可変施肥システム導入促進など
- 【地域材ブランド化】：①SGEC認証制度に関する勉強会実施、②木材加工整備の整備に対する支援、③地域材普及PRなど

#### 今後の取組を進める上での主な課題

##### ■豊富な地域資源を活かした再生可能エネルギー等の導入促進

- イベント等における集客力増加のため、環境学習等への関心を高めるための取組が必要
- 平成29年度にPV施工技術者制度の改正があったことから、新制度対応のための体制整備を図るとともに、改めて学生等受講希望者の持つニーズ把握が必要
- 水素エネルギー普及に向け、設備等の技術開発やコスト低減など、実証実験を通じた利活用の検討のほか、水素社会実現への住民理解や気運醸成等が必要

##### ■新たな価値を生み出す科学技術などの活用

- 宇宙政策を推進するため宇宙基本計画等10年にわたる長期計画により工程管理をしていることを踏まえ、十勝管内における現行の宇宙関連の取組(①JAXAによる研究開発②民間企業による小型ロケット打ち上げ等)を効果的に実施することが必要
- RTK-GPS基地局の整備や衛星データ等の新たな利活用に向けた検討が必要
- 女性農業者のスマート農業への関心が低い
- コントラクター組織のGPSガイダンス等の導入推進
- SGEC認証材の安定的な供給に向けた体制づくりを推進するとともに、同制度に関する一般消費者の理解の浸透を図ることが必要

### 【KPIの状況】

※森林認証制度の一つ。「一般社団法人緑の循環認証会議」が管理・運営。  
十勝管内では「とかち森林認証協議会」や道有林(十勝管理区)などが取得。

	H26(基準)	H27	H28	H29	H30	H31(目標)
新エネルギーの導入状況(原油換算)	160ML(H26)	188ML <進捗率> 107%				176ML(H32)
先進技術関連事業所立地数	13件(H26)	13件 <進捗率> 76%	13件 <進捗率> 76%			17件(H32)

## 「次世代先進産業」とかちチャレンジプロジェクト

## 十勝連携地域

## 【施策展開】

## 次年度の取組(平成30年度)

## ■豊富な地域資源を活かした再生可能エネルギー等の導入促進

## ○各種普及啓発や取組状況等の情報発信

- ・地域資源を活用したバイオマスや水素エネルギーに関するパンフレットを作成し(商工労働観光課・農務課等と連携)、ホームページで公開するほか、環境関係イベントでの配布、環境学習会の開催などを通じて情報発信(道(振興局))
- ・バイオマスに関する相談対応の実施(道(振興局))
- ・バイオマスアドバイザー派遣事業の実施(道(振興局))

## ○PV施工技術者等の新エネルギーを担う人材、事業体の育成・確保

- ・新たなPV施工技術者制度に基づく認証研修機関として、在学生を対象に研修を実施(道立帯広高等技術専門学院)
- ・道立帯広高等技術専門学院の取組に対する認知度向上のため、イベント等において広く周知(道(振興局))

## ○水素エネルギーの利活用促進

- ・環境省委託事業「家畜ふん尿由来水素を利用した水素サプライチェーン実証事業」検討委員会への参画(道(振興局))
- ・本庁との連携のもと、環境イベントやパンフレット、ホームページ等を通じて、水素利用に関する現状や取組などを発信(道(振興局))
- ・鹿追町水素エネルギー研究会に委員として参画し、水素の利活用等を検討(道(振興局))
- ・水素の利活用に関する理解促進のため、十勝管内事業者等に対してセミナーやエネルギー関連イベントなどの情報を提供(道(振興局))
- ・市町村や管内事業者からの水素関連の照会等に対する相談対応(道(振興局))

## ■新たな価値を生み出す科学技術などの活用

## ○航空宇宙に関する研究・実験拠点化に向けたPRなど大樹町多目的航空公園の効果的な活用

- ・関係機関と連携し、航空宇宙関連ビジネスの経済波及効果や理解促進に向けたセミナーを実施するとともに、各種イベントにおいて十勝の航空宇宙関連の取組のPRを実施(道(振興局)、関係機関)
- ・本庁や関係機関と連携し、航空宇宙関連ビジネスに係る相談窓口を設置するとともに、ロケット打上時等の地元の受入体制整備を検討(道(本庁、振興局)、関係機関)
- ・航空宇宙関連ビジネスを目指す人材を育成するため、中高生を対象とした産業展示会等の視察や航空宇宙研究者等との交流等を実施(道(振興局))
- ・航空宇宙関連ビジネスへの就職を促進するため、進路指導等の教員を対象とし、航空宇宙関連ビジネスに係る知識や生徒への指導方法を学ぶセミナーを実施(道(振興局))

## ○トラクターの自動操舵システムや可変施肥システムの普及推進など、農業分野へのICT化の取組の展開

- ・トラクタの自動操舵システムや可変施肥システムなど、地域への導入に対応する取組を推進するため、関係機関・団体による導入推進に向けた検討を支援(道(振興局)、関係機関)
- ・振興局独自事業にて、スマート農業(ICT)の導入促進を図るため、女性農業者等の理解促進を図る(道(振興局))

## ○森林認証制度や木材の加工・乾燥技術の向上など地域材のブランド化による利用拡大

- ・とかち森林認証協議会の会員等を対象とした勉強会を実施(十勝流域森林・林業活性化センター)
- ・SGEC認証制度に関する理解の浸透を図るための普及啓発活動を実施(道(振興局))
- ・製材施設や乾燥施設等の整備に対する支援(道(振興局))
- ・十勝産木材の住宅分野での利用を拡大するための普及啓発活動を実施(とかちの木で家をつくる会)

# 「多様な人材の活用」とかち支援プロジェクト

## 十勝連携地域

### 【概要・目的】

女性の就業率の高さなど十勝の地域特性を踏まえた女性の社会進出や起業化への支援、また、50代から60代のシニア層の転入が石狩地域に代表される都市部に比べ少ないという地域の特徴を捉え、アクティブシニアと言われる健康で活動的なシニア層をターゲットにした移住・交流の促進により、若い世代はもとより地域の産業・社会を支える女性やシニア世代を含めた幅広い層の人材を育成・確保するための取組を進めます。

### 【施策展開】

#### これまでの主な取組実績

##### ■女性のキャリアアップや社会進出の促進に向けた取組

- ・企業・団体等でキャリアアップを目指す女性や企業の女性活躍推進担当者向けのセミナーの開催
- ・女性ロールモデルの情報発信や交流促進のため、女性の活躍に係る総合的なポータルサイトを構築
- ・女性による新たなビジネスモデルの検討を支援するための研究会を開催
- ・地域における子ども子育て支援

##### ■アクティブシニアをターゲットにした移住・交流の推進

- ・アクティブシニアに対する学びのニーズ調査やメニューに関する調査を実施
- ・「十勝アクティブシニア移住交流促進部会」の設置、運営（道（振興局）、管内13町）
- ・十勝管内で実施されている「学びのメニュー」についてWebサイトを制作し、効果的な情報発信を実施

#### 今年度の主な取組（平成29年度）

##### ■女性のキャリアアップや社会進出の促進に向けた取組

- ・【キャリアデザイン支援】：①女性活躍促進企業等の情報発信など
- ・【ネットワークづくり支援】：①農業、水産業、起業家など、異分野で活躍する女性の交流会を開催、②女性活躍に関するポータルサイト活用など
- ・【女性視点ビジネスモデル創出】：①ビジネスモデル支援セミナー・ワークショップ開催など
- ・【女性農業者活躍場づくり支援】：①男性側の理解促進を図る研修会やセミナー開催など
- ・【子育て環境整備】：①施設型給付費用等の支給費用一部負担、②地域子ども・子育て支援事業経費補助など

##### ■アクティブシニアをターゲットにした移住・交流の推進

- ・【ニーズ等の現状把握】：①ペルソナ調査（池田町）など
- ・【ネットワーク構築・人材育成】：①「十勝アクティブシニア移住交流促進部会」開催、②メニュー開発・人材育成に向けた情報収集、有識者を交えた検討など、③「生涯活躍かみしほろ塾」（仮称）開校に向けた準備（上士幌町）
- ・【フォローアップ体制構築】：①「学びのメニュー」についてPR動画作成、②Web媒体等の活用によるシニア層へのPR、③移住希望者による現地見学会（上士幌町）など

#### 今後の取組を進める上での主な課題

##### ■女性のキャリアアップや社会進出の促進に向けた取組

- ・振興局のH27調査において、女性活躍促進のための取組について、約半数の企業が取り組んでいないことが判明したため、先進事例の情報発信が必要
- ・子育て等との両立を踏まえた、比較的小規模な起業に対する支援不足が課題であるため、女性向けの小規模な起業支援の取組が必要
- ・地域で活躍している女性や支援施策などの情報が不足している現状があることから、分野を超えた交流をはじめ、情報を入手するための仕組みづくりが必要
- ・管内で活躍する女性農業者やそのグループを中心とした、次世代につながるリーダー育成が必要
- ・子育て支援事業はH29年度中にサービス利用実績等について調査を行い、計画の中間見直し等を実施

##### ■アクティブシニアをターゲットにした移住・交流の推進

- ・市町村レベルにおけるニーズの把握が必要
- ・来年度からは、当該連携事業への市町村の参画が5町増の6町となる見込みであるが、事業の着実な推進のため、管内市町村、関係団体、民間事業者等との一層の連携・協力必要

### 【KPIの状況】

	H26（基準）	H27	H28	H29	H30	H31（目標）
女性キャリアデザインロールモデル輩出数（累計）		8件 <進捗率> 16%	21件 <進捗率> 42%			50件（H31）
ちょっと暮らし滞在日数	7,787日（H26）	7,681日 <進捗率> 86%	9,637日 <進捗率> 108%			8,955日（H32）

## 「多様な人材の活用」とかち支援プロジェクト

## 十勝連携地域

## 【施策展開】

次年度の取組(平成30年度)

## ■女性のキャリアアップや社会進出の促進に向けた取組

## ○組織等での活躍や起業を目指す女性へのキャリアデザイン支援

- ・女性活躍促進のための取組(ポジティブ・アクション)に積極的に取り組んでいる企業で働く女性や管内で活躍している女性を取材し、先進事例として情報発信(道(振興局))
- ・女性が個人事業として小規模な起業や開業を行う新たなビジネスモデルを支援するためのセミナー・ワークショップを開催(道(振興局))

## ○地域で活躍する女性のネットワークづくりを支援

- ・農業や水産業または起業家など、異分野で活躍する女性の交流会を開催(道(振興局))
- ・農業や水産業または女性の活躍に関する団体や個人などの情報発信や交流促進の場を設定するため、女性の活躍に係る総合的なポータルサイトの内容の充実を図る(道(振興局))

## ○女性ならではの視点を活かした新たなビジネスモデルの創出

- ・女性が個人事業として小規模な起業や開業を行う新たなビジネスモデルを支援するためのセミナー・ワークショップを開催(道(振興局))

## ○女性農業者の活躍の場づくりの支援

- ・女性農業者の次世代リーダーの育成のため、有識者を招いたセミナー等を開催(道(振興局))
- ・振興局独自事業にて、スマート農業(ICT)の導入促進を図るため、女性農業者等の理解促進を図る(振興局)

## ○安心して子どもを育てることができる環境の整備

- ・子どもが健やかに成長するように支援するため、市町村が支弁する施設型給付費等の支給に要する費用の一部を負担(道(振興局))
- ・子ども・子育て支援の着実な推進を図るため、市町村が策定する市町村子ども・子育て支援事業計画に基づく措置のうち、地域子ども・子育て支援事業(13事業)に要する経費を補助(道(振興局))
- ・放課後児童の健全育成のため、放課後児童クラブの運営の促進(道(振興局))

## ■アクティブシニアをターゲットにした移住・交流の推進

## ○アクティブシニアに対する学びのニーズ等の現状把握

- ・関係機関と連携し、引き続きニーズの把握に努める(道(振興局))
- ・自町に特化した最新のニーズ調査を実施(音更町、土幌町、池田町、本別町、足寄町、陸別町)

## ○学びを活かした移住・交流促進に向けた関係者ネットワークの構築

- ・「十勝アクティブシニア移住交流促進部会」を開催し、構成員各位の取組状況や管内共通の課題・現状等について情報共有を図るとともに、昨年度に引き続き、新たな「学びのメニュー」の開発を行うほか、学びを担う人材の育成・確保及び受け入れ事業の実施に向けた検討を実施(道(振興局)、管内市町村、民間)

## ○学びに関するメニュー開発や学びを担う人材の育成・確保

- ・作成済みのメニューについて体験ツアーを実施し、フィードバックを得るとともに、「学びを担う人材」の育成確保のため講演会を開催(道(振興局))
- ・「生涯活躍かみしほろ塾」(仮称)の開校(上土幌町)

## ○継続的な取組に向けたフォローアップ体制の構築や効果的な情報発信

- ・地方創生関係交付金により作成したWebサイト及びPR動画について、シニア層に対して効果的に配信(道(振興局))
- ・体験メニューなどを盛り込んだ移住パンフ、ポスター及び動画を作成し、フェア会場等やSNSにおいて移住希望者の視覚に訴えた情報発信を実施(池田町)
- ・東京交通会館内の「ふるさと回帰支援センター」において、とかち東北部3町の圏域ブースを出展し、効果的な情報発信、プロモーションを実施(本別町、足寄町、陸別町)